



FRI Business Incubation News

2006年2月21日

ビル内物流の共同配送会社を設立

2006年1月に「コラボデリバリー株式会社」が設立されました。ヤマト運輸(株)殿、日本通運(株)殿など東京路線トラック協議会の全メンバー67社が集まり、高層大型ビル内物流を請け負う新会社を創立しました。配送改革に一石を投じる新しいビジネスモデルとして注目されています。

FRIは全面的な企画立案、会社設立の支援を行いました。

高層大型ビルが直面している課題

大量の荷物の出し入れを各社がそれぞれ行っているためエレベータやスペースが非効率に使用されている。

ビルが大型化し、CO2排出、渋滞などに加えてセキュリティーが大きな問題になっている。

配送手数料単独では採算が取れない。

FRIが提案したソリューション

新会社のビジネスモデルの具現性を支援

加えて、弁当の販売、自販機の商品補充・メンテ、

オフィスコンビニのトータルオフィスサービスの事業化をサポート

資本政策、売上・費用計画、組織・体制を立案

67社へのプレゼンを経て会社設立手続きを支援

問い合わせ先

(株)富士通総研 公共コンサルティング事業部

Tel:03-5401-8396 担当:佐々木、池田

解説

何が画期的か・競争からCSRへ

ヤマトホールディングス会長兼社長の有富慶二氏の言葉を借りると、「この業界は競争ばかりをしてきた。CSRなんて何処にあるだろうという世界だった。それが初めて業界を挙げた協力体制ができた」ということです。

環境などに配慮すると同時に全体最適を実現して一層の効率化を実現します。

ITビジネスの視点

ビル内サービスビジネス

第一号の適用は新宿副都心の高層ビルになる見込みです。今後首都圏を中心とする多くの大型ビルへの展開が見込め、RF-IDを始めとするIT活用に場面が生まれてきます。

商店街への展開

CO2や渋滞が問題になっているのは商店街も同じです。気持ちの良い買い物の場を実現することで地域の活性化につながります。